

3 - 13 伊豆半島の群発地震活動 (1977年6月～10月)

Earthquake Swarms in the Izu Peninsula (June-October 1977)

東京大学地震研究所 地震移動観測室・地震活動研究部門
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

前報¹⁾以降、1977年10月までの伊豆半島の微小地震活動について報告する。第1図(A)～(E)は、6月～10月の各月ごとの震央分布図である。これらの震源は従来と同様伊豆半島の定常観測点奥野、臨時観測点奈良本、市山、河津の4点のデータにより決定した。

6月には、4月および5月に活発であった天城山から天城峠にかけて北東-南西にのびる地域に引続き活動がみられたが、7月以降は、活動域が北東側と南西側にわかれ、それぞれ北西-南東方向に震央が分布する傾向がみられるようになった。このようなパターンの変化は、本年前半(1月～6月)と後半(7月～10月)についてまとめて比較した第2図で明瞭に認められる。

この期間、次のような活動がやや注目された。

9月25日09時32分と33分に丹那断層南部に当る中伊豆町北西部に $M \approx 3.0$ ($M_{JMA} 2.9$ と2.7)の地震が発生した。この付近では、これ迄 $M3$ に近い地震の発生がなかった。

10月12日～18日頃東海岸の東伊豆町奈良本付近にやや顕著な微小地震の群発活動がみられた。これに先立ち同月7日～9日頃大島近海にも群発地震が発生した。いずれも最大 $M3$ 以下であった。1976年2月にも北川付近と大島近海に活動があったので、両者は関連して活動する性質があるのかも知れない。

9月15日～17日と10月10日に西海岸で $M2$ 程度の地震を含む活動がみられた。この付近は、1975年11月以降の臨時観測データでは震源の求まる地震が1個も見られなかった場所である。

全体として昨年および本年4、5月頃にくらべ静穏に経過した。

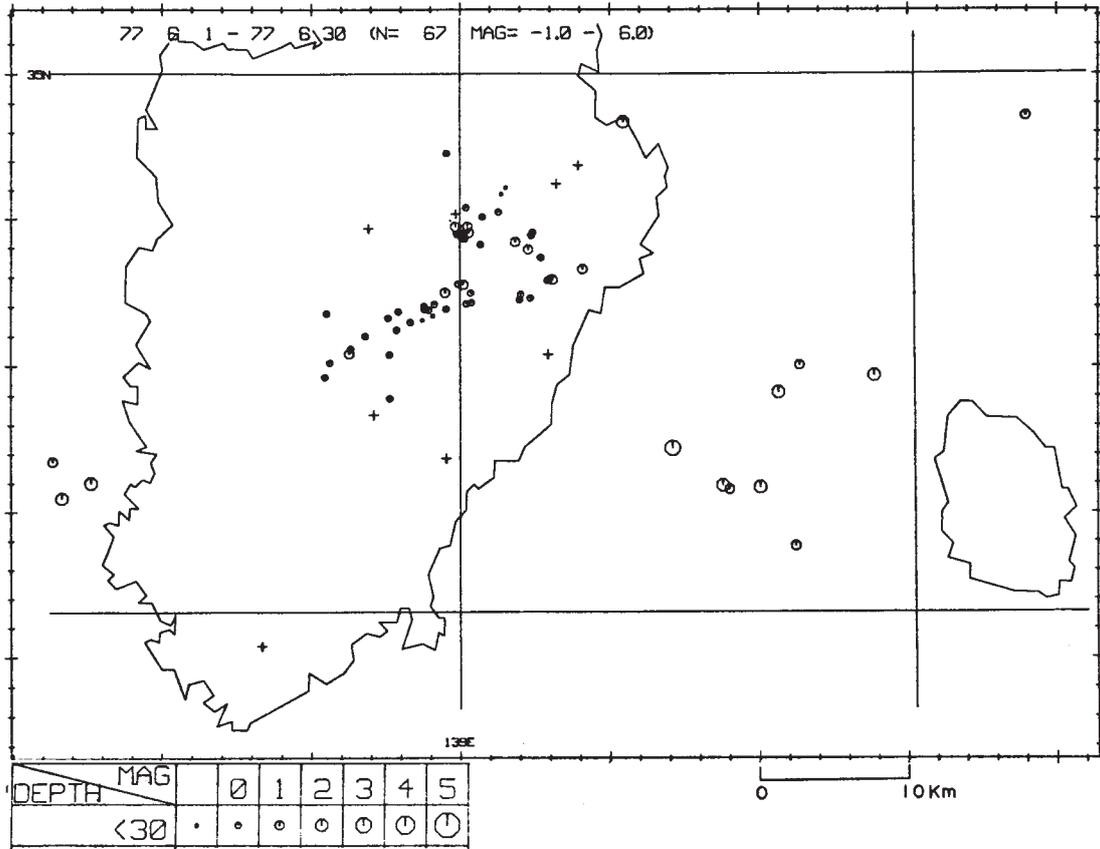
(唐鎌, 荻野, 酒井, 津村, 高橋)

参 考 文 献

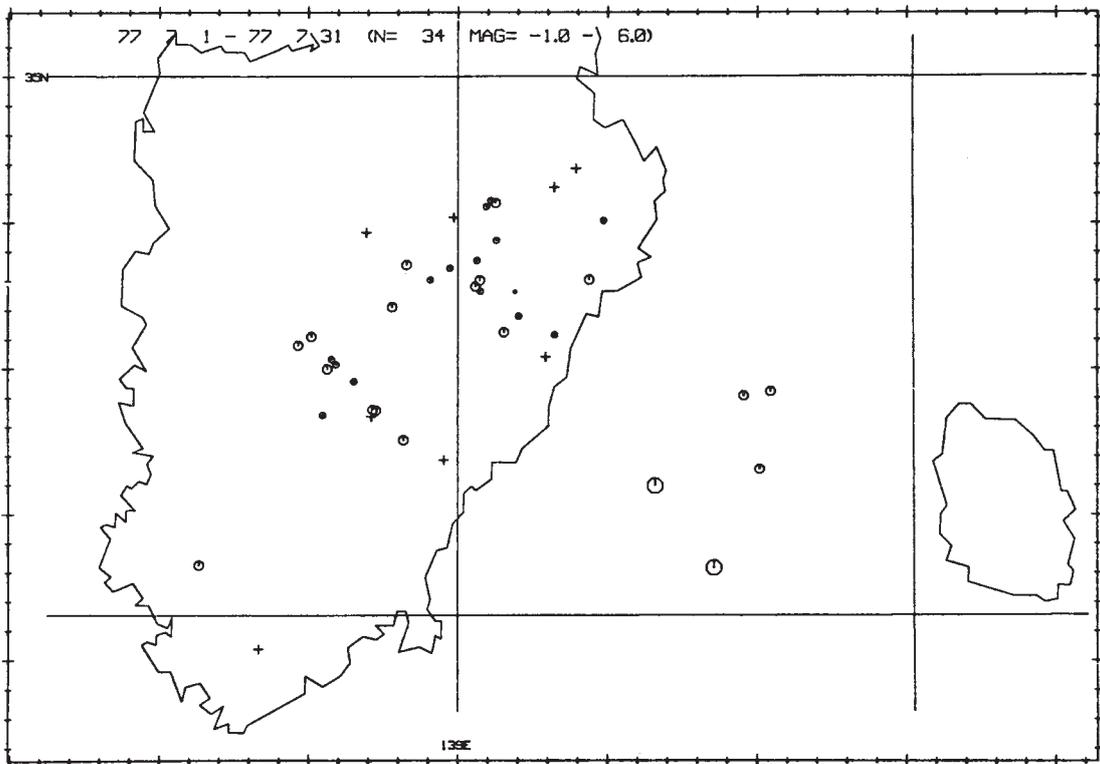
- 1) 東京大学地震研究所: 伊豆半島東部の群発地震(1976年11月-1977年5月), 連絡会報, **18**(1977), 42-46.

第1図 1977年6月～10月の震央分布図

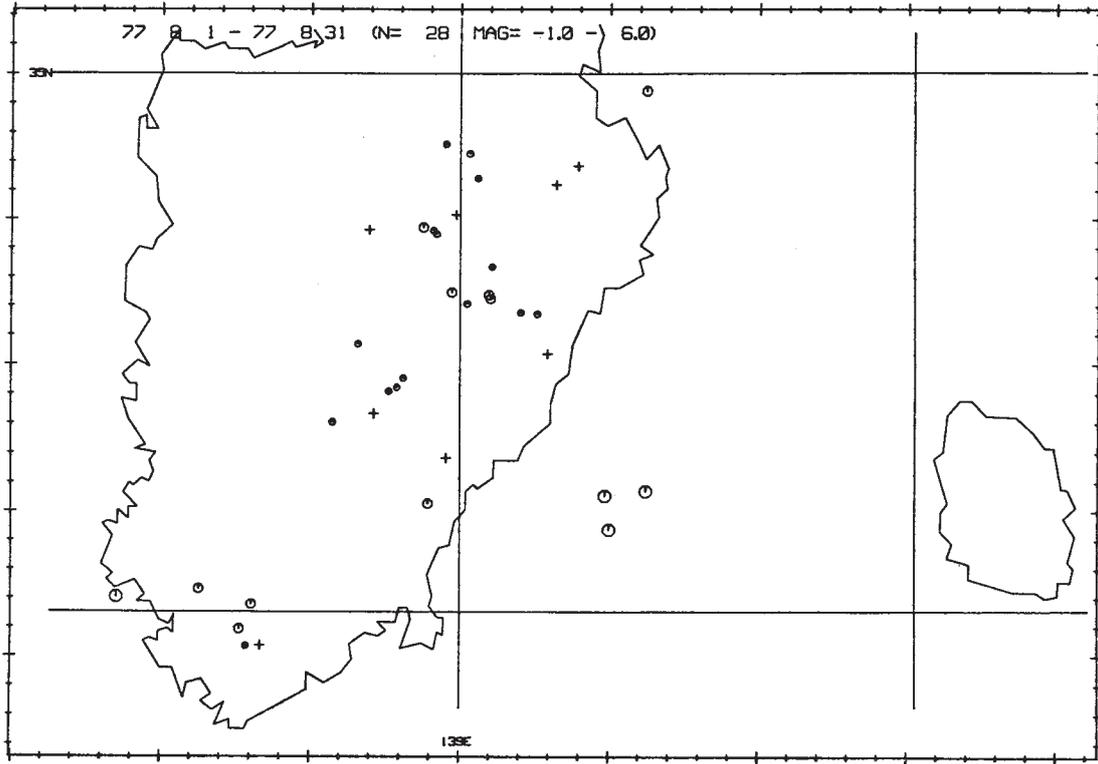
Fig. 1 Distribution of epicenters for June-October 1977.



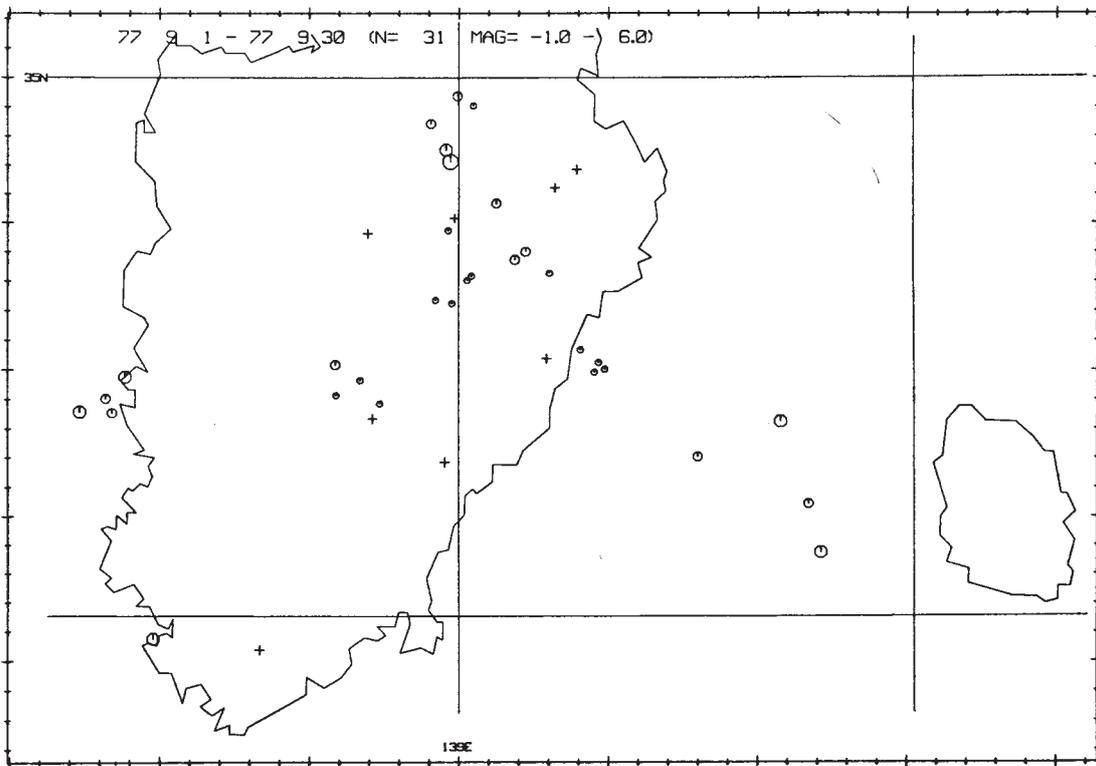
(A) June 1977.



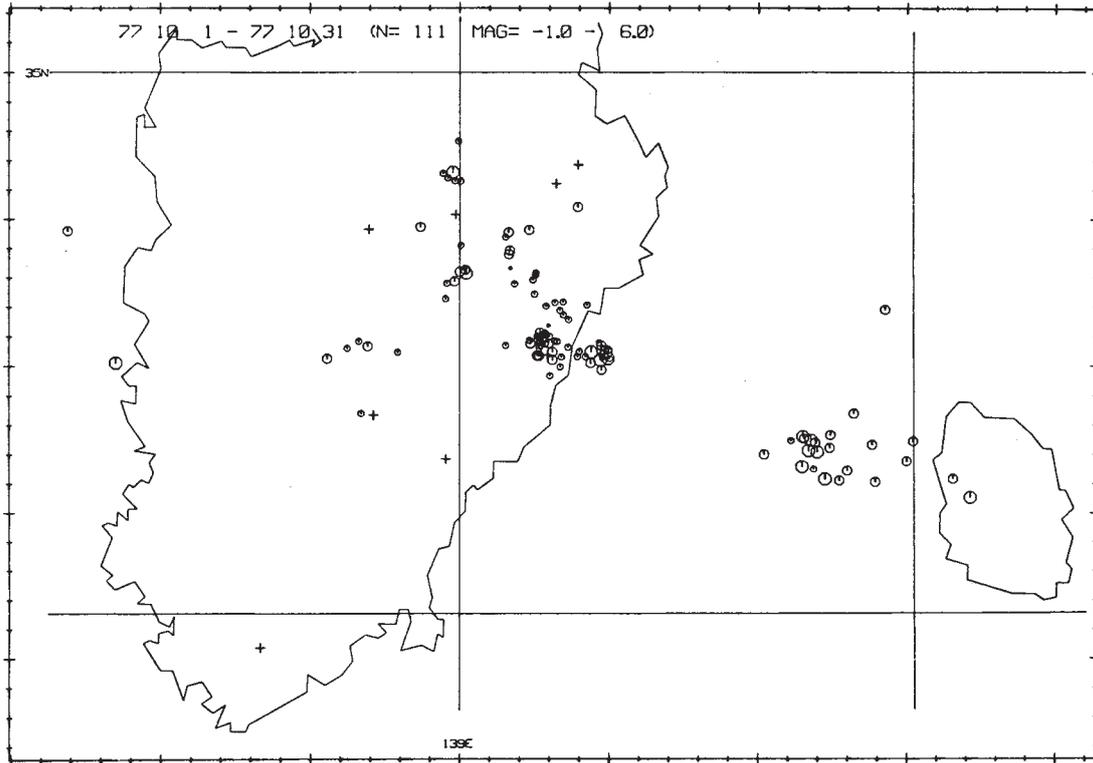
(B) July 1977.



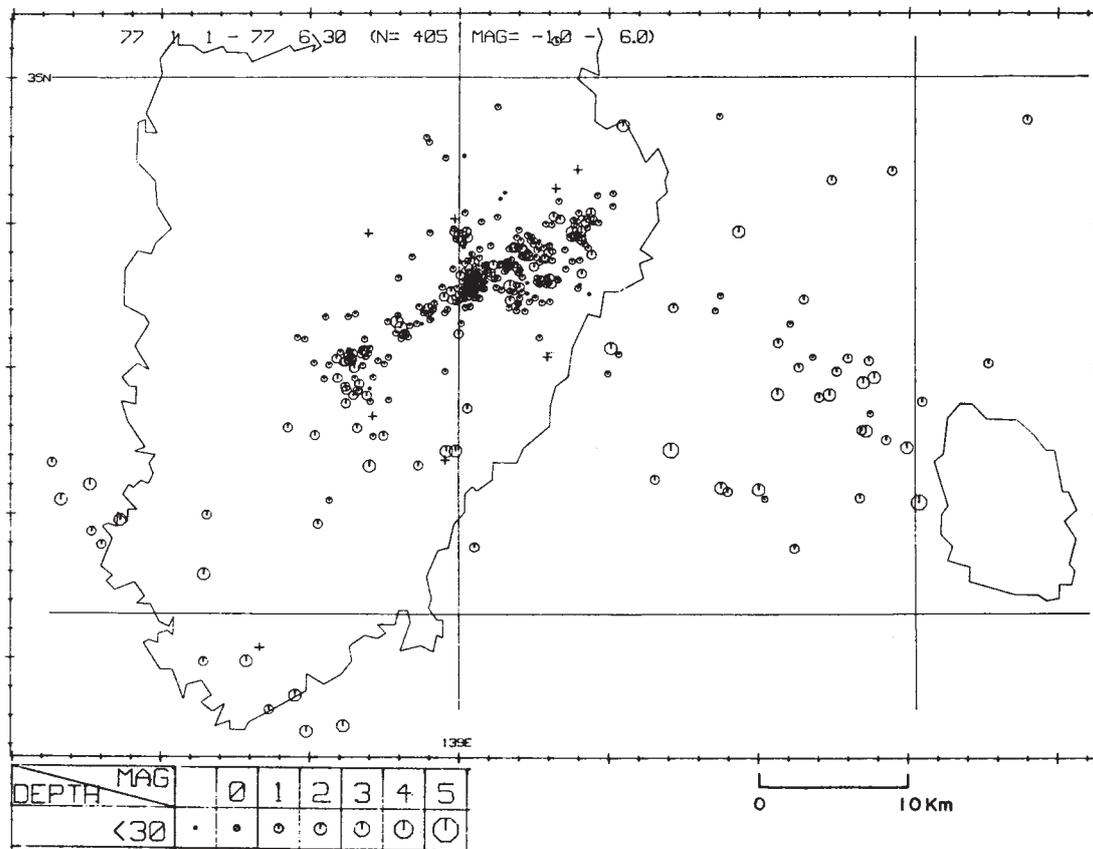
(C) August 1977.



(D) September 1977.

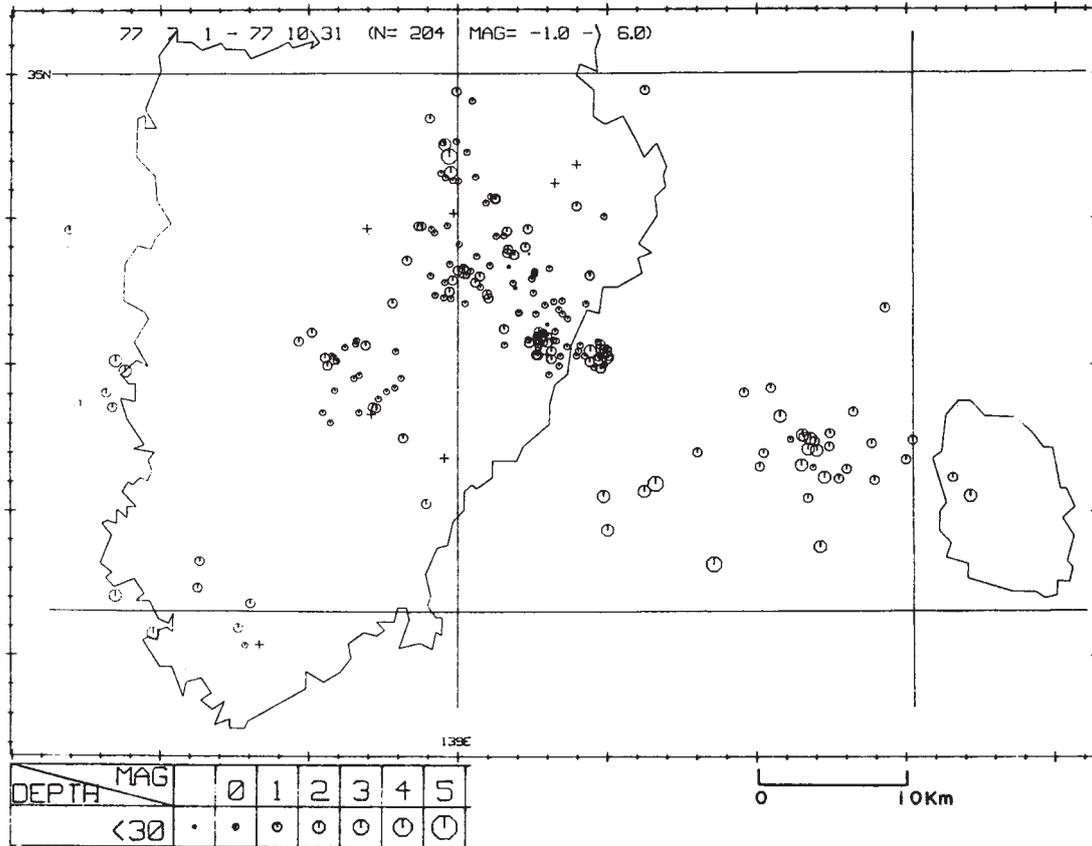


(E) October 1977.



(A) January-June 1977.

第2図 1977年1月～6月および7月～10月の震央分布図
 Fig. 2 Distribution of epicenters for January-June and July-October 1977.



(B) July-October 1977.